

所 報 研究所だより

教育・しまんと

★令和5年度 四万十市教育研究会 (市教研) 年間行事計画確定 (別紙Ⅰ参照)

1月の「サークル連絡協議会」2月の「運営委員会」で、本年度の総括及び来年度の行事計画を協議決定いたしました。

その協議内容を受けて、過日の「校長会」の場で報告を行い、下記のように最終確認をいたしましたのでお知らせいたします。

【組織総会】

- ①日 程 令和5年5月9日(火)
14:30～16:45
②会 場 中村中学校

来年度も新型コロナウイルス感染症予防のため、体育館での全体会は行わず、まず、部会から開始し、その後放送(リモート)による全体会、引き続いてサークルⅡの分科会を行います。

各校の参加者名簿は代表者が受付でお渡しください。全体会の資料等は、サークルⅡの分科会教室でお受け取りください。

(別紙Ⅱ開催要項参照)

【夏季研修会(各部会)】

《養

- 護教諭、栄養教諭、
学校事務、中学校実技教科》
①日 程 令和5年7月28日(金)
8:30～11:30
②会 場 市内の小・中学校 他

来年度も、各部会の研修日として、夏季研修会を開催する予定です。中学校の再編により、実技教科部会の会員数が減少し限られた人数での研修会となることが想定されますが、若年教員の育成、免許外指導、小学校での実技教科の教科担任制等々も含めて、日々の指導に

令和4年度
NO. 8

発行 四万十市教育研究所

四万十市国見 222 番地
Tel/Fax (0880) 37-2817
ふれあい学級(0880) 31-1130

思い悩んでいる先生方もおられるのではないかと思います。そういった課題を少しでも克服するために研修の場を引き続き確保するものです。

なお、期日については、前述の日程としていますが、当日の午後には、後述しているように、「教育講演会」が予定されており、日程的には考慮すべき状況があります。その点を踏まえていただき、年度当初に部会毎に研修日の計画を立てていただきたいと思います。

【教育講演会】

- ①講 師 木村 泰子さん
②日 程 令和5年7月28日(金)
14:00～16:30
③会 場 市立文化センター

◆ 2006 年開校の大阪市立大空小学校初代校長。9 年間の学校経営の中で、「すべての子ども達の学習権を保障する」という教育理念のもと、「発達障害」の子どもも通常学級で共に学ぶ取り組みや「モンスターペアレント0」「不登校0」といった実践を含めて、本市の教育課題のひとつである「不登校問題」等に関してご指導ご助言を仰ぐ。

【サークルⅡ 夏季研修会】

- ①日 程 令和5年8月4日(金)
8:30～11:30
②会 場 市内の小・中学校 他

昨年と同様、同日の午後、四万十市の人権教育研究大会が開催予定です。

【運営委員会】

- ①第1回目
令和5年5月18日(木)

②第2回目

令和5年9月28日(木)

③第3回目

令和6年2月 8日(木)

※会場・時間

いずれも教育研究所(旧東中筋中学校)
で15:30からの予定

【サークル連絡協議会】

①第1回目

令和5年6月 1日(木)

◆参加対象者

サークル及び各部会の会長・事務局
の内代表者1名。

②第2回目

令和6年1月23日(火)

◆参加対象者

サークル会長

※会場・時間

いずれも教育研究所(旧東中筋中学校)
で15:30からの予定

※2回目の協議会が、二学期末に変更に
なる可能性もある。

以上、多少不透明な部分ではありますが、現状としては、このような日程及び内容で、計画を進めていきたいと考えております。

なお、昨年度と同様に、令和5年度も高知県教育委員会が「研修会を設定しない期間(8/7、月～8/20、日)」を設ける為、このことを踏まえて、四万十市教育委員会では『(8/7(月)～8/15(火))』を「学校閉庁日」とするとともに、あわせて『(8/16(水)～8/18(金))』を「学校閉庁日に準ずる扱い」とすることも決

定しています。

従って、従来この期間に開催されていた悉皆研修及び義務研修等が前倒しで実施され、教育講演会や夏季研修会等と重なることが想定されます。

その場合には、その研修会を優先していただき、教育講演会や夏季研修会には「欠席届」を提出していただくこととします。

ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

★令和5年度 四万十市教育研究会
サークル活動について(別紙Ⅲ参照)

別紙Ⅲにあるように、上記の活動に関しては、令和2年度から3年間、サークルⅠ(教科研修)に替わる研修に位置づけ、試行期間として「授業づくり講座」等に移行する形で取り組んできました。

この3年間の実践の中で、一定の定着が図られたことや今後も中学校の再編が進むこと、さらに児童生徒数の減少により学級数の減少に伴う教職員数の定数も配置減になることが想定されます。

会員数が減少していく中で、従来のサークルⅠ(教科研修)の形に戻すことは難しい状況にあります。

従って、来年度も授業づくり講座に加えて、指定研究を受けている市内の小中学校の研究発表会、また、各研究団体が開催する研修会が市内の小中学校を会場として開催される場合や各校の「授業研修会の公開」等々もサークルⅠ(教科研修)に替わる研修会に位置づけ取り組んでいきたいと考えております。

各学校におかれましては、本年度の集約並びに来年度を見据えた取り組みを協議する際に、全体での確認資料として活用していただき、**別紙Ⅰ及び前述した各研修会と同日に、校内研修や学校行事等を設定しないよう**、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。